



即応予備自衛官制度

About SDF Ready Reserve



1 即応予備自衛官とは

防衛力の基本的な枠組みの一部として、防衛招集命令、国民保護等招集命令、治安招集命令及び災害等招集命令を受けて自衛官となり、あらかじめ指定された部隊において、常備自衛官と同様の任務にあたります。

普段は…



民間人としてそれぞれの職業に従事し、企業などの一員として勤務しつつ、年間30日間の訓練に参加します。

いざという時は…



速やかに出頭し、自衛官としてわが国の防衛等に貢献します。また災害救援等で地域社会に貢献します。

災害等招集
治安招集
国民保護等招集
防衛招集

2 即応予備自衛官の処遇

手当総額 約50万~60万/年

即応予備自衛官手当

月額: **16,000円**

2、5、8、11月の3ヶ月毎に支給。
ただし正当な理由のない訓練不出頭の場合、
手当の支給は停止されます。

勤続報奨金

1任期: **120,000円**

1任期(3年)を良好な成績で勤務すると、勤続報奨金として
120,000円が支給されます。

訓練招集手当

階級	日当	階級	日当
2等陸尉	14,200円	2等陸曹	12,600円
3等陸尉	13,700円	3等陸曹	11,300円
准陸尉、陸曹長及び1等陸曹	13,200円	陸士長及び1等陸士	10,400円

※手当は課税対象になります。

招集旅費、被服及び食事

招集中に必要な被服が貸与され、訓練出頭のための往復旅費及び食事が支給されます。

災害補償

公務に起因する負傷、疾病、障害又は死亡の場合の災害補償は、自衛官と同様に実施されます。

3 即応予備自衛官の応募資格等

応募資格	対象者	自衛官としての勤務期間が1年以上の者(自衛官候補生の期間を含む。)で退職後1年未満の元陸上自衛官又は陸上自衛隊の予備自衛官で採用されている者。かつ、採用時にそれぞれの階級に応ずる年齢未満の者 ※予備自衛官補(一般)から予備自衛官に任用された者で所定の教育訓練により基本特技を修得した者を含む。								
	退職時階級	2尉	3尉	准尉	曹長	1曹	2曹	3曹	士長	1士
	採用時の年齢	51歳未満					50歳未満			
採用	<ul style="list-style-type: none"> ●本人の志願に基づき、選考により採用します。 ●採用時に階級、職種、特技及び自衛官となって勤務する部隊が指定されます。 ●採用者には、採用決定次第、本人に採用通知(辞令書の交付)をします。 									
身分	非常勤の自衛隊員(非常勤の特別職国家公務員)です。									
任用期間	1任期:3年(継続任用も可能です。) 上限年齢:最終継続任用は、2尉~1曹 51歳未満、2曹~1士 50歳未満									

4 訓練日程等の調整要領

➤ 雇用企業等



招集予定時期等の
情報提供

制度広報、
給付金支給手続等

➤ 自衛隊地方協力本部



出頭状況確認

訓練出頭の調整
休暇申請・許可

訓練招集に応じることが
できない場合の
申し出書等

➤ 即応予備自衛官



訓練出頭可能時期の調整

訓練招集命令書の交付

指定日時に出席

➤ 指定部隊



即応予備自衛官の訓練日程調整等のポイント

- 年度及び3ヶ月毎の訓練計画を早期に通知し、事前に調整します。
- 企業等の勤務態勢や急な業務の都合に、できる限り対応しています。

5 招集訓練の一例

個人としての訓練(各個訓練)			部隊としての訓練(部隊訓練)		
Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ	Eタイプ	Fタイプ
精神教育 特殊武器防護等 2日間	格闘訓練 小火器射撃 体力検定等 2日間×3回	特技訓練等 2日間×4回	班レベルの 部隊訓練 4日間×1回	小隊レベルの 部隊訓練 3日間×2回	中隊レベルの 部隊訓練 4日間×1回
					
●訓練開始式	●射撃検定	●掩体構築訓練	●陣地攻撃訓練	●重迫撃砲実弾射撃訓練	●連隊訓練検閲
					
●特殊武器防護	●リベリング訓練	●補給業務訓練	●索敵行動	●野外弾薬補給訓練	●中隊訓練検閲

即応予備自衛官の招集訓練のポイント

- 訓練は主として土、日曜日を中心に設定されます。
- 複数の訓練パターンから選択できます。

6 即応予備自衛官の声



「人の役に立ちたい」

北部方面混成団
第52普通科連隊重迫撃砲中隊
即応予備1等陸曹

村上 正浩

平成30年9月6日、北海道胆振東部を震源として震度7の地震が発生、即応予備自衛官に災害招集がかかるご連絡がきました。「災害派遣で人の役に立ちたい。」これは、私が即応予備自衛官を続けてきた理由です。

社長に「東日本大震災での災害派遣活動を通じ、被災者の役に立てたと実感できた。ノウハウもある。ぜひ今回も行って欲しい。」と相談したところ「仕事は大丈夫。可能な限り行ってきて。」と快く言っていただき、9月8日、迷いなく出頭地である東千歳駐屯地に向かいました。

無事任務を終了し、やはり行って良かった。人の役に立てて良かった。と改めて実感することができました。これも社長はじめ職場の皆さんのおかげだと感謝しています。

即応予備自衛官になるにあたり、仕事との両立、意欲を持ち続けることが大変と感じることもありましたが、今は「やりがい」と「充実感」を持って続けてこられて良かったと心から思っています。

志願を考えている皆さん、ぜひ「やりがい」と「充実感」を味わうためにもチャレンジしてみてください。

7 即応予備自衛官雇用企業様の声

About SDF Ready Reserve

「企業としての社会貢献を果たす」

日動警備埼玉株式会社
代表取締役社長

宮崎 純和 様



弊社は、平成23年の設立以来、埼玉県内において交通誘導警備(2号警備)を主軸とした警備業を行っています。自衛隊との関係は設立準備の時期から始まっており、陸上自衛隊で就職援護を経験した齋藤勇二氏を教育課長として迎え、人材募集に警備員教育にと頑張ってもらっています。

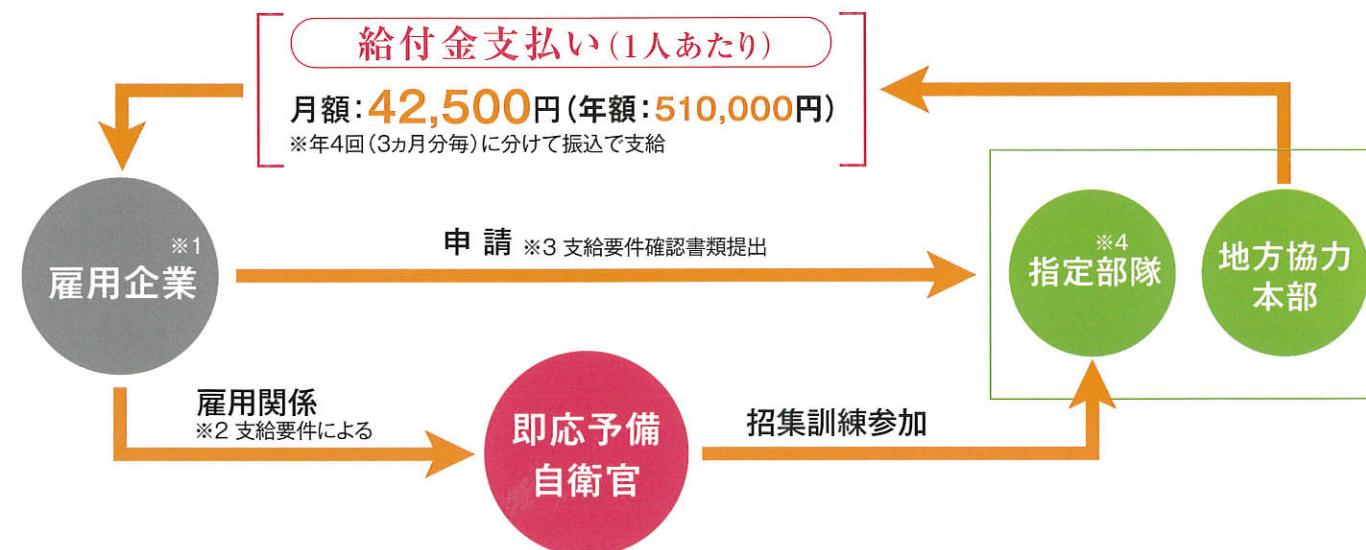
現在、弊社には即応予備自衛官2名と予備自衛官2名が、業務と両立する形で招集訓練に励んでいます。彼らは皆、勤勉で礼儀を身に付けており、会社全体に良い雰囲気を作ってくれています。そのため、社員皆が訓練への参加を応援する環境ができています。

平成30年7月豪雨災害、更に北海道胆振東部地震では、即応予備自衛官が災害等招集され、被災地の復旧に活躍したと聞きました。

これからも弊社は、退職自衛官を多く雇用し、積極的に即応予備自衛官や予備自衛官に志願してもらい、国の有事に備えて社会貢献を果たしてゆく所存です。

8 即応予備自衛官雇用企業給付金

即応予備自衛官を雇用する企業等の負担等に報いるとともに、即応予備自衛官として安心して訓練及び災害等招集に出頭できる環境を整えていただくため、即応予備自衛官雇用企業給付金制度を設けております。



※1 即応予備自衛官を雇用する法人その他の団体及び自家自営業主(国・地方公共団体及び公共法人は除きます)
●即応予備自衛官本人が自家自営業主の場合は、支給対象となりません。

※2 1. 即応予備自衛官との間に次のいずれにも該当する雇用関係を有していること。
●1週間の所定労働時間が30時間以上であること ●1年以上引き続き雇用されることが見込まれること
2. 即応予備自衛官が訓練招集及び災害等招集に応じる期間を特別休暇・勤務免除扱いとする等の措置を講ずることによって、人事考課上不利な取扱をしないこと。
3. 即応予備自衛官を雇用する企業等内において、即応予備自衛官制度等の周知に努めていただくこと。
4. 雇用企業として、支給要件を満たさなくなった場合には支給されません。
5. 申請を受けた月から、支払金額が発生します。

※3 1. 支給要件を確認するため、申請時において所要の書類を提出していただきます。
●雇用保険被保険者証の写し又は雇用契約書、雇入れ通知書、就業規則、賃金台帳等 ●休暇措置等を確認し得る書類又はその写し
2. 地方協力本部担当者が、支給要件の確認をさせていただきます。

※4 即応予備自衛官が所属する部隊